

第17回 市民意識調査結果の

お知らせ

市では、「第6次基本構想」に基づき、充実した日々を送ることができる理想の“未来”の実現を目指し、さまざまな施策を実施しています。

この調査は、市民の皆さんの市政に対する想いやこれまでの市の取り組みに対する評価、今後のまちづくりに対する意向などを伺い、今後の市政運営の基礎資料とするために3年に1回実施しているものです。

本特集では概要を紹介し、詳しい調査結果は右記をご覧ください。

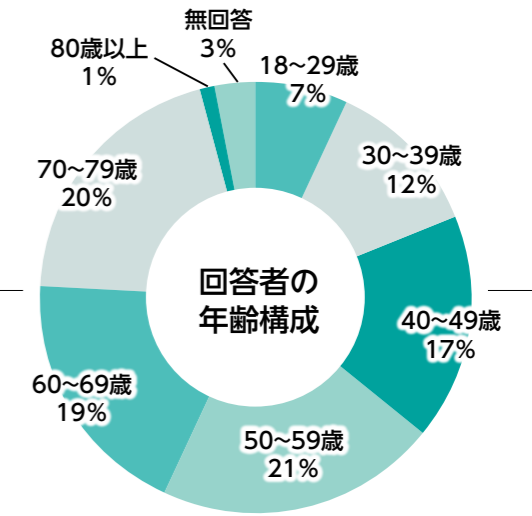
回答にご協力いただきありがとうございました。

企画課 ☎049-257-4136

調査結果の閲覧場所

市ホームページ、市政情報コーナー（市役所本庁舎1階）、各公民館・交流センター・コミュニティセンター・図書館ほか

詳しくはこちら▶



調査の概要

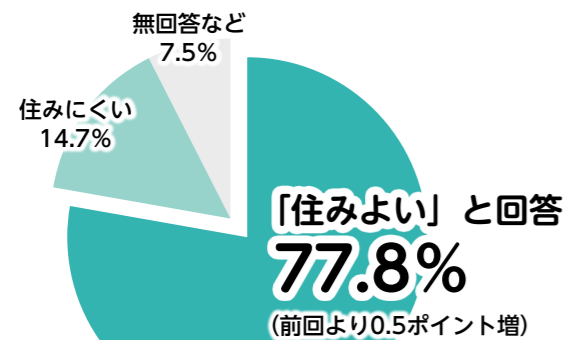
調査期間 令和6年8月2日～21日

対象 市内在住の満18歳以上の3,000人(無作為抽出)

調査方法 アンケート調査票の郵送による配布・回収

回収数 1,221票(回収率40.7%)

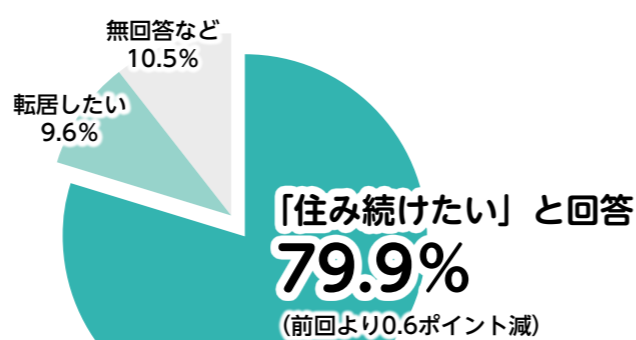
住みごこち



主な「住みよい」理由(1人2つまで)

- 買い物に便利(47.5%)
- 通勤・通学に便利(29.6%)
- まわりに緑や公園が多い(27.4%)

定住意識



主な「転居したい」理由(1人2つまで)

- 通勤・通学に不便(19.7%)
- 親、きょうだいや親戚の近くに住みたい(18.8%)
- 買い物に不便(12.0%)

富士見市の魅力ある資源(上位5項目)

市で最も魅力があると思う資源に選ばれたのは、本市が「W30」のキャッチコピーでPRしている「首都30キロメートル圏内、電車で池袋まで30分以内」という立地的優位性が、38.8%でトップとなりました。そのほかでは、自然や史跡に関するものが上位となっています。

主な取組内容	割合
首都30キロメートル圏内、電車で池袋まで30分以内という立地的優位性	38.8%
田園地帯や点在する緑地、湧水などの自然環境	9.5%
富士山が見える	9.3%
水子貝塚や難波田城跡などの史跡	8.6%
菜の花、藤、桜、菖蒲やコスモスなど四季折々の花々が咲くスポット	6.7%

水子貝塚公園開園30周年記念「縄文フェスタ」



東武東上線に掲出した電車広告(令和6年10月31日～11月29日)

特に力を入れるべき施策(上位10項目)

今後のまちづくりにおいて、第6次基本構想・第1期基本計画の30分野の施策で、特に力を入れるべきだと思ふものを伺いました。

上位5分野では、前回調査と同様に高齢者福祉がトップとなり、以降、防犯・交通安全、子ども・子育て支援、道路、危機管理の順となっています。

基本計画の分野	主な取組内容	割合
高齢者福祉	• 介護予防など健康長寿のための取組 • 医療・介護・地域・福祉の連携したサービスの実現	31.0%
防犯・交通安全	• 地域の防犯活動支援、防犯環境の整備 • 歩行者、自転車、自動車等の安全利用の推進	26.7%
子ども・子育て支援	• 乳幼児の発育支援、子どもを育てる環境づくり • 子育て家庭への経済的支援	23.4%
道路	• 市民生活の安全安心の確保に向けた幹線道路等の整備 • 地域の利便性や安全性を向上させる生活道路の整備	18.3%
危機管理	• 自助・共助・公助による災害対応体制の推進 • あらゆる危機の予防と被害抑制	18.1%
学校教育	• 確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成 • 教職員の資質向上や学校施設・設備の整備	17.2%
公共交通	• 市内循環バスなど地域公共交通網の充実 • 放置自転車・違法駐車対策など駅周辺の安全性向上	15.9%
子ども・若者支援	• 子どもの居場所づくりのための活動に関する支援 • 若者の学び直し相談やネットワークづくり	14.3%
商工	• 買物利便性の向上、商店街・個店の活性化、創業支援 • 良好なモノづくりの環境整備、新たな工業基盤の強化	12.6%
健康づくり	• 健康的な食生活、運動習慣の推進 • こころの健康、歯と口の健康づくり	8.1%

※1人3分野まで



フレイルチェック測定会



福祉避難所開設訓練



小学生ロボコン富士見市大会(STEM教育)



プレミアム付電子商品券発行